



The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty

U-40 Annual Report 2019

U-40 担当理事ご挨拶	1
U-40 代表幹事挨拶	
U-40 副代表幹事挨拶	
支部紹介	4
・北海道支部	
・東北支部	
・関東支部	
・東京支部	
・中部支部	
・近畿支部	
・中国四国支部	
・九州沖縄支部	
U-40 プロジェクト活動報告	34
・日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム	
・Advanced Lecture Course	
・基本手技定量化プロジェクト	
・先天性プロジェクト	
特別座談会	40
-日本心臓血管外科学会 U-40 の未来を考える-	
サマースクール活動報告	41
会計報告	42
編集後記	43

U-40 代表理事挨拶

日本心臓血管外科学会心臓血管外科学会 U-40 代表理事
弘前大学 胸部心臓血管外科学講座
福田 幾夫 先生



U-40 担当理事として2年目を迎え、Basic Lecture Course のお世話にもだいぶ慣れてきたところですが、残念ながら本年度を持って定年退職を迎え、日本心臓血管外科学会の理事も退任いたします。この2年間、沢山の若者たちと交流できたことは私にとって大きな喜びであり、仕事としてやりがいも感じていました。各地のBSLの様子を報告書で拝見するたびに、U-40 幹事の皆さんが、自分たちだけでなく後輩達の育成を考えて、手弁当で活動してくれていることを本当に嬉しく思っております。本年度はAdvanced Lecture Course として、東京女子医科大学の新浪博士教授による冠動脈バイパスの講演と第二回のCABG コンテストを予定しており、そのほかに第34回心臓血管外科ウィンターセミナー時にも日本医科大学の新田隆教授によるMaze手術のウェットラボも行うことになっており、ますます充実した活動が行われています。

日本心臓血管外科学会理事会ではU-40 が若手の心臓血管外科医により多くの学びの機会を提供するとともに、若手の間での情報交換の場としてより円滑に運営できるように財政的な支援と協力を惜しみませんが、本年度より効率的で透明性の高い運営を行えるようにBLCの準備等は外注するようにしたのでU-40の幹事の皆さんの負担が少し軽くなったのではないのでしょうか。U-40の幹事として活躍している皆さんは、日常診療以外に業務を余分に負担していただいております、一般の若手会員よりも忙しい毎日を送っていると思いますが、U-40を卒業して中堅心臓血管外科医として仕事を続けてゆくときにU-40幹事としての経験は必ず役に立つものと思います。

日本心臓血管外科学会としても、皆さんの活動を高く評価しています。本年度でU-40を卒業し、後輩にバトンタッチしても、若い皆さんの支援を是非ともよろしくお願いします。私も次の担当理事に引き継ぎますが、引き続き外から応援を続けたいと思います。

U-40 代表幹事挨拶

東海大学八王子病院 心臓血管外科
田中 千陽



代表幹事の田中千陽です。就任し2年がたちました。U-40 発足から早6年、発足当時の幹事メンバーの多くが今年度で卒業になり、U-40 のあり方や活動の見直しをする時期に差しかかっています。今まで U-40 が行ってきた活動の象徴的なものとして、全国8支部で行ってきた Basic Lecture Course(BLC)が挙げられます。BLCに参加して初めてU-40の活動を知ったという方も多いのではないのでしょうか。近年では手術手技トレーニングが手術成績に重要であることが証明され、専門医資格を取るために知識のみでなく Off the Job Training の時間数が必須になりました。手術技能を向上するためにトレーニングが必要なのは当たり前なのですが、それを全国的、系統的に基本的手技ハンズオンの形を整えたのは BLC です。U-40 は全国8支部にそれぞれ10名程度の幹事がおり活動していますが、各支部の努力によって、より系統的かつ充実したハンズオンになるよう BLC は少しずつ形を変えてきました。基礎力アップを重視した BLC の活動は専門医全体のスキルアップにもつながると考え、今後さらに重要な立ち位置となると捉えています。また、BLCに関連してトレーニングに有用なツールやデータを、U-40 独自に考案していけたらとおもいます。

2019年度の Advanced Lecture Course(ALC)は冠動脈吻合コンテストに加え、新田教授をお招きし不整脈外科のハンズオンを開催しました。ALC は基礎的スキルがある若手を対象に、より手術を深いレベルまで考え、術者として実臨床に生かすことを目標に行っています。ALC は若手が学びたいことをテーマに開催するので若手外科医のニーズにあう内容が提供できると考え、今後挑戦的な内容を含め開催していきます。

先天性心疾患プロジェクトは立ち上げて1年半が経過しました。平野プロジェクトリーダーより全国の先天性心疾患志望の若手の連絡網をつくり、相互的な情報共有や意見集約、またハンズオンの開催などを目指しています。

職場環境において大きな変換点となる働き方改革について、U-40 として提言をするべく昨年より試行錯誤してきました。その一つの形として日本心臓血管外科学会雑誌コラムがあります。発足当時より基本手技に関するテーマでコラムを継続してきましたが、日本心臓血管外科学会50周年を記念した『いまさら聞けない心臓血管外科基本手技』の出版と共にひと段落し、今後コラムを通して若手の働き方改革に関する実態、意見を様々な視点から可視化していこうとおもいます。

U-40 は学会の正式な若手下部組織ですが、これは全国の学会を見渡しても珍しい団体です。若手組織の必要性を考え U-40 を発足された上田裕一先生に感謝申し上げるとともに、私たち若手外科医の自立を助長し、横山斉理事長はじめ執行部が懐深く意見を受け止めていただく環境はとてつもなく恵まれているとおもいます。今後 U-40 幹事一人ひとりが役割をもち、ますます積極的に活動できる環境づくりに努めたいとおもいます。また全国のあらゆる地域の若手外科医の皆様には是非 U-40 の活動に参加していただきたいとおもいます。

最後になりますが、2年間暖かく多大なサポートを頂いた福田幾夫理事、今期で退任になる共に U-40 を作ってきた幹事の先生方には感謝し尽くせません。また、すべての会員の皆様には、今後も継続したご支援ご協力をいただければ幸いです。U-40、ならびに U-40 幹事共々、どうぞよろしくお願いいたします。

U-40 副代表幹事挨拶

日本医科大学 心臓血管外科
高橋 賢一郎



今年度より副代表を拝命いたしました日本医科大学心臓血管外科 高橋賢一郎と申します。

これまでの活動により、U-40 の認知度・注目度は上昇傾向にあります。全国で幹事 60 名以上が参画し、U-40 担当理事の福田先生や心臓血管外科学会理事長の横山先生を始め各支部長の先生方にも御力を頂き、様々なプロジェクトを同時進行し達成してきた成果であり、今後さらに U-40 の活動は拡大していくものと考えます。U-40 幹事ひとりひとりが活躍の場を持ち、これまで以上に活発な組織として機能するよう、運営体制の brush up に努めていく所存です。

加えて副代表として渉外活動を担当し、今後心臓血管外科領域に限らず様々な分野のチーム・企画と積極的にコラボレーションして参ります。

また、私自身 Off the Job Training を非常に重要視しており、U-40 の大きな存在意義と考えております。現在 Advanced Lecture Course プロジェクトサブリーダーとして、ALC の企画運営を行っております。昨年度を踏襲して 2020 年 3 月も心臓血管外科学会学術集会会期中に CABG ALC を予定している他、今年度初の試みとしてウィンターセミナー会期中に心房細動手術 ALC を企画しております。OffJT が専門医取得に義務化され、若手の中でハンズオントレーニングに対する意識が高まっている中、プロジェクトリーダーの吉野先生とともに OffJT の在り方を積極的に提案して参ります。

支部紹介

北海道支部

北海道支部の特徴

北海道には各々の強みを持つ北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の3大学が存在しており、北海道の地域医療も含めて幅広い範囲をカバーしています。3大学には各々特徴があり、それぞれの強みを活かしながら若手がお互いに切磋琢磨できる環境と思います。学会活動に関しても HOPES(Hokkaido Organization of Professional and Educational Surgical Societies:北海道外科関連学会機構)を設立し、地方会を統合して積極的な意見交換ができる大きな場を持ち、すでに3回盛会に終わっています。冬は雪も多く、臨時手術で呼ばれたとしても車がはまって動けません、みたいな事もありますが、めげずに日々目の前の患者を助けるためにベストを尽くす毎日です。

北海道支部長

旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授
東 信良 先生



北海道のU-40では、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の3大学の出身者が、出身大学の枠を超えて集まり、同年代の同志の存在を知り、ともに手術手技やその理論を学ぶ貴重な機会となっており、加えて、Off-the-Jobトレーニング30時間の一部を獲得できる機会ともなっています。

心臓血管外科専門医制度では、成人心臓手術、大血管手術、末梢血管手術、小児心臓手術、ワイヤースキルの全領域を一通り学ぶことを専門医たるものの素養として求めています。

たとえ、臨床の機会が少ない領域であったとしても、BLCのような場面で、敢えて自分のど真ん中ではない領域にも挑戦して、専門医たる素養の一助にさせていただく、そんな機会でもあります。

北海道の課題としては、1)参加者が他の地域に比べて少ないこと、2)これまでU-40北海道を引っ張ってきた幹事たちが皆一斉にU-40を卒業して、幹事が一斉に刷新されたことです。後者はU-40の仕組み上の宿命ではありますが、長い目でみて計画性をもって人事を考え、交代時点で次の幹事が十分に育っている状態を作っていかなければならないと感じております。

U-40は本来、心臓血管外科の若手が自主性を持って企画・運営をしてゆくための仕組みであるので、新幹事が積極的にリーダーシップを発揮して、2020年からの北海道U-40が実り多いものになってゆくことを期待しております。つい先日まで幹事であったU-40卒業者を含めたOver 40の皆様には引き続き新体制の船出に力を貸していただければ幸いです。

北海道支部代表幹事

砂川市立病院 心臓血管外科
橋口 仁喜



2018年度より2年間北海道支部代表幹事を務めさせていただきました橋口です。多くの先生方のご協力を賜り、2年の任期を無事に終えることが出来たことをこの場をお借りして感謝申し上げます。U-40 幹事になったきっかけは、同齡である前全体代表の渡邊 隼先生と大腿動脈の露出の仕方で意気投合したことでした。今でも会うときは細かい手技について何時間でも語り明かしてしまいます。そういうことを思い切り話し合える場所を作れたらいいなと思い、支部代表としてやってきました。北海道支部は若手の数が少なく BLC への参加者も少ない状態で支部代表としては厳しい状況でしたが、熱心な指導医の先生や幹事の先生の協力により、非常に楽しく充実した内容にすることができました。2020 年度からは村瀬支部代表を中心として、多くの若い幹事達がさらに充実した BLC を作り上げていってくださると思いますので、北海道支部の U-40 の先生方はもちろん、他支部からも参加してくれる先生がたくさん出てくれることを期待しております。

北海道支部幹事

華岡青洲クリニック 心臓血管外科
関 達也



今までありがとうございました。もう 40 歳なので卒業します。いろいろと勉強させて頂き良い経験になりました。今後の U40 の益々の発展を祈念しております。

旭川医科大学 外科(心臓大血管)
中西 仙太郎



北海道 U40 広報担当として北海道 3 大学の若手をつなぐべく尽力させていただきました。十分な仕事ができいたとも思いませんが、北海道の医療の底上げに少しでも貢献できたとも考えており、有意義な時間を過ごさせていただきました。これからの益々の発展を祈念いたします。

北海道支部幹事続き

旭川医科大学 外科(心臓大血管)

伊勢 隼人



現在ドイツに留学中であり、しばらく滞在予定のため幹事を退任させていただくことといたしました。
また留学で得られた知識・技術・経験を北海道の若手心臓外科の活動に還元できたらいいと考えています。

苫小牧王子総合病院 循環器・呼吸器外科

村瀬 亮太



2020 年度より北海道支部代表を務めさせていただく、村瀬亮太と申します。
旭川市で生まれ札幌市で育ち、北海道大学を 2010 年に卒業した生粋の domestic な道産子です。
卒後は北海道大学病院をはじめ道内様々な関連施設で研修を積んで参りました。
北海道は地理的な関係上、他支部の皆様はもとより、道内の先生方との交流もなかなか難しい特殊な環境にあります。それでもこれまでの先輩方が築いてくださった U-40 の活動を通し、距離を超えてたくさんの先生方との交流を持つことが可能となりました。今回私が北海道支部代表を引き継ぐにあたり、これまで以上に道内の若手心臓血管外科医を活発に盛り上げ、道外の皆様とも密な関わりを持てるよう、努力してまいりますので、よろしくお願いします。

札幌医科大学 心臓血管外科

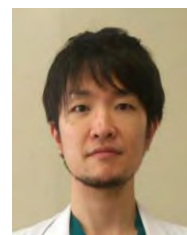
沼口 亮介



内科治療の台頭によってより質の高い手術が求められる時代となりました。外科医もふるいにかけられる時代ですが、切磋琢磨して頑張っていきたいと思います。

北海道大学病院 循環器・呼吸器外科

杉本 聡



医師として「決して心臓外科に固執することなく心身共に健康が第一」をモットーとしながらも、患者と上司と妻の顔色を窺い、朝から晩まで(ときに朝から朝まで)心臓外科医をやっているのはやっぱり心臓外科が楽しいからに違いない。さとし。

東北支部

東北支部の特徴

東北支部は東北6県（青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島）で構成される支部です。U-40 会員は70名程度の比較的小さな支部になります。これまで5回のBLCを開催し、研修医を含め年々若い世代の参加者が増えてきており、小さい支部だけに毎回のように出席してくれる先生も多く、アットホームな雰囲気の支部となっております。東北支部ではこの横のつながりを大事に3つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思っています。

東北支部長

弘前大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学
福田 幾夫 先生



巻頭のご挨拶をご参照ください。

東北支部代表幹事

山形大学医学部附属病院
黒田 吉則



2018年度より東北支部代表を務めさせていただいている黒田吉則と申します。U-40発足時から幹事を務めさせていただいております。東北支部はU-40会員が少ないですが、U-40活動の中心であるBLCを充実させ、少ない会員数だからこそ横のつながりが強い東北支部を目指して参りたいと思います。若手心臓外科医の発展に向けて会員の先生方のお力になれたと思っております。U-40の目指す『3つの笑顔』を一緒に作り上げていきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

東北支部幹事

秋田大学医学部附属病院
高木 大地



東北支部幹事の高木大地です。東北支部幹事となり5回目の Basic Lecture Course を終わりました。BLC は若手心臓血管外科医が職場による環境や修練状況の違いを知り、失敗談や経験を共有できる貴重な場の提供だけでなく、知識面・技術面において成長する貴重な機会になる場と考えています。去年よりもより良いものを作り、東北心臓血管外科が盛り上がるよう、幹事として微力ながら頑張ろうと思っています。よろしくお願い申し上げます。

山形大学医学部附属病院
石澤 愛



東北支部幹事の山形大学心臓血管外科 石澤愛です。U40 は医局や施設を越えた若手心臓血管外科医の先生方と繋がれる貴重な機会ですので、支部での活動を通じて学べる事、得られる事、同世代の先生方との交流を大切にしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

福島県立医科大学
石田 圭一



福島県立医科大学の石田圭一と申します。医局の垣根を越えて、同世代の先生方と交流活動が出来ることを大変楽しみにしております。U-40 が東北、そして全国の若手心臓血管外科医の更なる発展、活躍のきっかけとなるよう、自身の研鑽も踏まえ精力的に活動して参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

東北支部幹事続き

弘前大学医学部
小渡 亮介



専門は空手で、東医体で6年間優勝したり全国国公立で優勝したりしていました。最近のサブスペシャリティーは劇団四季です。観劇のために一生懸命学会演題を出しています。先天性心疾患もやっています。ヒーロー不在でも成り立つチーム構築を目指しています。押忍。

須賀川病院
高野 隆志



東北支部幹事をさせていただき光栄です。U-40の活動を通して、それまで知り合えなかった同世代の心臓血管外科医の先生方と仕事ができ非常に貴重な時間をいただいていると実感しております。若い世代の先生方に今後の活躍のためのきっかけやヒントなどをBLCなどのイベントの中から得ていただけるように、そして我々の世代のこれからのためにも刺激となるものとして発展させることができよう引き続き精進して参ります。

岩手医科大学 心臓血管外科
田林 東



岩手医科大学心臓血管外科田林東です。2018年よりU-40東北支部の幹事を務めさせていただく事となりました。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように、微力ではありますが、努力させていただきたいと思っています。よろしくお願いします

東北大学
松村 宣寿



2018年からU-40東北支部幹事になりました松村宣寿と申します。まだまだ経験が浅く不安もありますが、微力ながら東北地方そして日本の心臓血管外科医の交流を深める橋渡し役となり、心臓血管外科の発展のために尽力できればと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

関東支部

関東支部の特徴

関東甲信越支部は東京を除いた首都圏から北関東・長野・新潟までを含む比較的広範囲の支部です。代表・副代表・幹事を中心とし、とても和気藹々とした雰囲気が特徴です。毎年 BLC は大盛況で懇親会の参加率も多く、U-40 会員全員の横の繋がりをとても大切にしています。

関東支部長

埼玉医科大学国際医療センター
鈴木 孝明 先生



昨年より U40 関東甲信越支部長を勤めさせて頂いている埼玉医科大学国際医療センターの鈴木です。U40 の活動に関わるようになって約 2 年が経過しましたが、立ち止まる事なく活動続けるみなさんの熱意と活動力に改めて敬服しております。今年も BLC に参加させて頂きました。参加者の全員が手技の習得に真剣に取り組んでいる姿と、講師の先生と共に熱心に指導する幹事の皆さんの姿を拝見していて、みなさんが牽引していく日本の心臓血管外科の未来が見えた様に思えました。今年度は岡村代表が任期中に急遽留学される事となりましたが、その後を根本副代表と幹事の先生方がしっかりと引き継がれ、とても盛会に終わり安心いたしました。

来年度は根本新代表のもと、幹事の先生方も入れ替わり新体制となりますが、U40 関東甲信越支部が今まで以上に活発に、そして新たな取り組みも入れて発展し続けて欲しいと願っております。心臓血管外科領域は年々進化し続けており、取り残されない様にその知識と技術を修得していく事は大変な事だと思います。また押し寄せようとしている働き方改革の波を避けて通る事は出来ません。少しでも U40 のお役に立てればと思っております。来年もまた U40 関東甲信越支部の皆さんとはお互いに切磋琢磨しつつ関東甲信越支部はもちろんのこと、U40 全体を更に発展させて行きましょう。今後とも宜しくお願いします。

関東支部代表幹事

Stanford University Medical Center

岡村 賢一



現在、アメリカはカリフォルニア州にある Stanford University に留学中の岡村賢一です。
初代千葉清先生の後を継ぎ 2017 年より約 2 年間、関東支部の代表幹事を務めさせて頂きました。U-40 発足当初より支部幹事として務めさせて頂いた期間も合わせますと約 5 年間、お腹一杯になる程関わらせて頂き、誠に感無量です。5 年間で U-40 は BLC を軸に少しずつ modify してきました。BLC の内容は一定水準に達したと思いますし、今年度からは運営側の負担を軽減すべくさらなる工夫がされており、今後が楽しみでなりません。私の後任には、私が絶大なる信頼を置いている根本寛子先生に託しました。安心して渡米できたのは、頼もしい支部幹事の先生方のお陰です。本当にありがとうございます涙…

またいつか先生方と一緒に仕事出来るのを楽しみに、そしてアメリカに少しでも爪痕を残せるよう精進して参ります。U-40 の益々の発展を願っています！

関東支部幹事

横浜市大附属市民総合医療センター

根本 寛子



2019 年は関東甲信越支部にとって、変化の大きな一年でした。
年始に、横山先生、出淵先生、三木先生、坂田先生が新幹事に加わりました。8 月には広報で大活躍してくれた澁谷先生が、そして 9 月には U-40 発足当初から支部の要で頼もしかった、代表の岡村先生が留学に発ちました。

BLC は 9 月 29 日に昨年と同じく横浜市立大学で開催され、不慣れな代表代行の指揮で不安がありましたが、幹事の先生方、東京支部平野先生、田中千陽代表、幹事 OB の先生方、講師の先生方、鈴木孝明先生、福田幾夫先生のお力添えにより盛会裡に終了できました。心より御礼申し上げます。
今年度をもって、濱先生と米山先生も退任となります。今後の更なるご活躍をお祈り致します。来年度は伊藤先生に副代表兼全体広報をお願いし、新津先生、田中駿先生にも引き続きお世話になりながら、根本が代表の新体制で臨ませていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉県こども病院

伊藤 貴弘



次年度から関東支部副代表兼全体広報を担当します伊藤です。先天性心疾患を専門にしており、BLC など U-40 の活動に取り入れたいと考えております。U-40 の認知度 up に向けて積極的に広報に尽くします！

関東支部幹事続き

横浜市立大学附属病院
澁谷 泰介



関東甲信越支部で広報を担当させていただき、BLC 運営には約 3 年間関わらせていただきました。2019 年夏よりベルギー王国に海外留学し、一度 U-40 の活動を離れることとなりました。短い間でしたが、活動を通してたくさんの出会いと刺激をいただき、かけがえのない経験をさせていただきました。また帰国した際は、今度は自分が刺激を与えられる側になれたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

戸田中央総合病院
横山 泰孝



戸田中央総合病院心臓血管外科の横山泰孝と申します。この度関東甲信越支部の幹事を務めさせていただくことになりました。施設や医局の垣根を越えて U-40 の活動に参加することで同世代の先生と一緒に修練を積んでいる共有感を持つことが利点だと思っています。この同年代の仲間との共有感が、修練中の身である僕をより良い心臓血管外科医へ押し上げてくれると信じています。これからもご指導よろしくお願い申し上げます。

佐久医療センター
新津 宏和



佐久総合病院 佐久医療センターの新津宏和と申します。若手にとって実際臨床に繋がる手術手技トレーニングなどに興味があります。活動を通して多くの先生方と交流を深め、より良いものを作り上げて行きたいと思います。よろしくお願い致します。

関東支部幹事続き

藤沢市民病院
出渕 亮



2019 年度より関東支部幹事をさせていただき、楽しく活動させていただいております。U-40 の活動・人の繋がりが、自分も含めた U-40 世代の刺激となり、悩み解決に役立ち、みんなの成長・発展にとっていい機会になればと思います。よろしくお願いいたします。

伊勢崎市民病院
三木 隆生



2019 年 5 月より U-40 関東甲信越支部幹事として主に BLC を中心に活動に参加させて頂いております。この活動を通して、(自分も含めた)心臓血管外科若手医師の研鑽の場としての BLC の更なる質の向上と、同世代の輪・つながりを広げていく助力が微力ながらできたら幸いと考えています。皆様どうか宜しくお願い致します。

千葉大学医学部附属病院
坂田 朋基



本年度から関東支部幹事になりました坂田と申します。現在は大学院生として大学病院で勤務しています。U-40 の活動を通してお互いの技術や知識を持ち寄って、同世代の心臓外科医みんなで切磋琢磨していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総合病院国保旭中央病院
田中 駿



総合病院国保旭中央病院心臓外科の田中駿と申します。まだまだ駆け出しの若輩者ですが、U-40 の活動に微力ながら貢献できればと考えております。宜しくお願い致します。

東京支部

東京支部の特徴

東京支部は修練施設が密集する地区を担当し、若手医師の横のつながりの活性化、情報交換・意見集約の一端を担えるように活動しています。2018 年度より BLC で先天性コースを開始し、今年度も引き続き東京支部独自のコースとして運用しました。今後も支部ならではの取り組みを検討していきます。

東京支部長

東京大学大学院医学系研究科 心臓外科
小野 稔 先生



心臓血管外科は結構大変だけれども、非常にやりがいのある領域であることは皆さん日頃から感じられていることだと思います。皆さんの強いやりがいをどのようにして保ちながら日常の臨床を続けてもらえるでしょうか？毎日のように自問し続けています。昨今の外科領域における働き方改革の実践を模索する中で、トレーニング、実験・研究、論文執筆のいずれにおいても、私たちの年代ではこれまでに有効な時間の活用法を誰も教えてくれなかったことがわかるようになってきました。これからの心臓血管外科を担う君たち、あなたたちには同じような経験をしてもらいたくありません。U-40 の中で、交流、また、後進を指導する私どもからのメンタリングを通じて、ワーク・ライフバランスが取れ、しっかりとした技術的向上を達成し、また、可能であれば、アカデミックな業績を少しでも残せるように、引き続き全力で応援していきたいと思っています。何よりも、皆さん 1 人 1 人が次代を担う立派な心臓血管外科医に是非ともなってもらいたいと願っています。

東京支部代表幹事

東京医科歯科大学 心臓血管外科
藤原 立樹



U-40 東京支部代表幹事を務めさせて頂いております東京医科歯科大学心臓血管外科の藤原立樹と申します。

2016 年から U-40 の活動に参加させて頂き、東京支部代表幹事を 3 年半務めました。

その間に off the job training が専門医取得のための必要項目となりました。東京支部主催の Basic lecture course の参加数は年々増加しており、幅広いニーズに対応できるよう先天性コースも開設しました。また次の時代を見据えて、支部内でシミュレーターを用いた MICS の勉強会なども企画しました。

今年度で自分としては U-40 幹事を退任致しますが、今後も若手心臓血管外科医師の相談や指導に携われるよう自己研鑽を続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

東京支部幹事

東京都立小児総合医療センター 心臓血管外科 平野 暁教



U-40 東京支部 副代表幹事をしています東京都立小児総合医療センター 心臓血管外科の平野暁教です。慶應義塾大学心臓血管外科医局所属で、現在小児心臓外科として修練中です。U-40 の東京支部には 2017 年度途中から参入させていただき、U-40 先天性プロジェクトのリーダーも兼任しています。小児心臓外科をやりたい稀有な若手はぜひ一緒に頑張っていきましょう！狭い心臓外科の世界で、横のつながりはとても大切だと感じております。引き続き日本心臓血管外科学会 U-40 活動に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

済生会川口総合病院 血管外科 向後 寛子



済生会川口総合病院の向後（旧姓 八百板）寛子と申します。日本大学心臓血管外科に入局ののち、出産を機に現職に転職する道を選択しました。幹事としては今年で4年になります。女性医師は修練期間と結婚出産のライフイベントの時期が重なっており、思いもよらない選択を迫られたり、職場理解やキャリアパスの形など大きな葛藤があると思います。会員の皆様とともに、女性の心臓血管外科医としての未来像を模索して参りたいと思います。

東京慈恵会医科大学 心臓外科 木南 寛造



東京慈恵会医科大学 心臓外科 木南寛造と申します。東京支部幹事を勤めさせて頂き、心臓血管外科の魅力を再認識できたように思います。日本人若手心臓血管外科医たちが世界に羽ばたきやすいシステムなど構築できないか模索中です。今はまだ微力ながら U-40 活動を盛り上げて行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

東京支部幹事続き

慶應義塾大学 外科
林 啓太



慶應義塾大学外科の林啓太と申します。血管外科医として末梢血管を専門としております。OJT や新専門医制度などの新しい制度に対して、若手がみな柔軟に対応できるよう、U-40 を通じてお手伝いさせていただきたいと考えております。末梢血管外科領域からも積極的に情報発信して参ります。

聖路加国際病院 心臓血管外科
吉野 邦彦



2018 年度より東京支部幹事をさせて頂いております。卒後 7 年目で、現在心臓外科全般および血管外科全般を修練中です。U-40 の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40 幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思います。

東京医科大学 心臓血管外科
丸野 恵大



この度新たに東京支部の幹事をさせて頂きます東京医科大学の丸野です。元々人前に立つのは得意ではありませんが、今回このような機会を頂きましたことを光榮に思っております。なるべく幹事としての立場からだけではなく、いち心臓血管外科医として、横の繋がりや先達との意見交換の手助けができればと考えております。

日本医科大学 心臓血管外科

高橋 賢一郎



初めまして、日本医科大学の高橋賢一郎と申します。我々は下っ端から中堅に移行する時期で、理想像に近づけるよう努力していても、臨床で時に自分の無力さを痛感したり、学会発表や論文執筆で思うように成果が出せず焦るような年代で、同時に周りのライバル達が気になる頃です。みんなで情報を共有し、企画に参加し、お互い刺激し合い、一緒に頑張っていくための環境作りに貢献できたら幸いです。よろしくお願いします。

中部支部

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山の7県で構成されています。支部幹事の専門も成人心臓・小児心臓・末梢血管と3領域が網羅されておりバランスが取れているのが特徴です。Basic lecture course も3回は名古屋・1回は金沢で開催しています。2020年より各県から1名の幹事を迎え、今後は今まで以上に支部内の交流を深まればと思っています。

中部支部長

名古屋大学大学院 心臓外科
碓氷 章彦 先生



名古屋大学大学院心臓外科の碓氷です。日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しています。

U-40は私の前任の上田裕一名古屋大学名誉教授が2012年に日本心臓血管外科学会理事長に就任した際に、若手医師の意見を学会運営に反映させるために構築した組織です。発足から8年が経過しU40の組織は成長し、リーダー・スタッフの引き継ぎも進んでいます。

U-40はクラブ活動のように、U-40を卒業した中堅医師が若手外科医の教育に当たり、学会員全体がお互いに切磋琢磨しながらレベルアップして行く組織だと認識しています。若手外科医が集えるフォーラムとして利用頂きたいと思います。

中部支部は全面的にU-40をバックアップ致します。若手外科医は自己表現の場、自己修練の場としてU-40を活用して下さい。中堅の皆様には、今後とも暖かいご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

中部支部代表幹事

一宮市立市民病院 血管外科
小山 明男



愛知医科大学血管外科の今枝と申します。大血管・末梢血管を中心に日々診療にあたっています。本年より中部支部幹事を拝命し、BLCの運営およびコラムの執筆に携わらせて頂きました。同年代の先生方のモチベーションの高さに気後れするばかりですが、お互いに高めあいながらレベルアップしていければと思います。微力ながらU-40の活動のお手伝いできれば幸いです。

中部支部副代表幹事

藤田医科大学病院 心臓血管外科
野田 美香



現在の専門は成人心臓血管外科であり、透析患者中心の名古屋共立病院に出向中ですが、一時期は小児心臓の施設で研修を受け、現在も成人・小児ともに勉強中です。来年度からまた大学に戻り、また小山先生の引退に伴い中部支部の支部代表を務めます。全国各支部で実施しているBLCは中部地区では他支部の先駆けとなる春先に開催していることが多く、また交通の利便性から他支部からも多く参加しております。

現在は中部地区では唯一の女性幹事であり、幹事一同協力しながら、また女性という特性を生かしつつ、中部地区の発展に努めていきたいと思っています。

中部支部幹事

愛知医科大学 血管外科
今枝 佑輔



愛知医科大学血管外科の今枝と申します。大血管・末梢血管を中心に日々診療にあたっています。本年より中部支部幹事を拝命し、BLCの運営およびコラムの執筆に携わらせて頂きました。同年代の先生方のモチベーションの高さに気後れするばかりですが、お互いに高めあいながらレベルアップしていければと思います。微力ながらU-40の活動のお手伝いできれば幸いです。

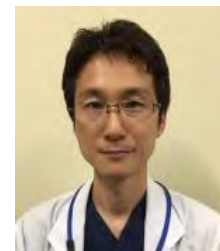
名古屋市立大学 心臓血管外科
山田 敏之



2018年より東京支部幹事を務めさせて頂いておりましたが、2019年の名古屋市立大学異動に伴い中部支部へと移籍いたしました。また、私自身以前より手術のトレーニングに関する研究を続けてきたご縁から、U-40全体のコアメンバーとして「手術の基本技術定量化」プロジェクトリーダーも兼任させて頂いております。「若手である」という特徴を最大限活かし、これからの心臓血管外科のあるべき形を皆さんと共に考えていけたらと思っています。

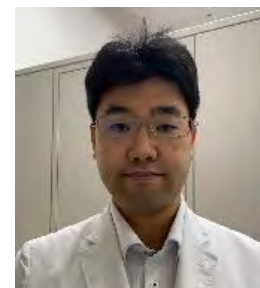
中部支部幹事続き

海南病院 心臓血管外科
末永 啓人



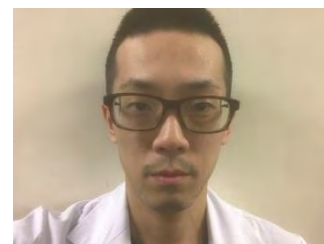
U-40 は心臓血管外科学会が若手の意見を取り入れ、若手に活動の場を提供する取り組みではありますが、その中部支部の幹事として活躍できる機会を頂き、光栄に思っております。2020 年で医師として 12 年目ですが、一年でも早く一人前の心臓外科医となるべく、日々努力をしています。U-40 の活動がより良い医療のもととなり、最終的には患者さんに還元されることを信じて、尽力して参りたいと思います。

福井大学 心臓血管外科
矢野 啓太



2011 年卒、福井大学心臓血管外科の矢野啓太と申します。受講者として中部支部 BLC には何度も参加させて頂いており、本年からは光栄にも中部支部幹事として U-40 に携わる機会を頂きました。福井からは初めての幹事とのことで、福井の心臓外科は勿論、中部、北陸地区ひいては全国の心臓血管外科の先生方のお役に立てるよう努力して参りますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

金沢大学 先進総合外科
上田 秀保



金沢大学の上田秀保と申します。2010 年より医師として働き始め、心臓血管外科医として日々勉強中の身です。名ばかり専門医にならぬよう日々鍛錬しているつもりですが、成長の実感に乏しい日々が続いています。同じ思いをもつ他の若手心臓血管外科医とともに、どのように前進したらいいかを一緒に考えることができればと思っています。今後よろしくお願い致します。

近畿支部

近畿支部は2府4県（大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山）から構成されますが、支部幹事の所属の関係で、活動の多くが大阪・京都に偏りがちです。

BLC は今年度も大好評でしたが、例年より参加者が少なかったことが反省です。来年度は、より多くの先生がたと交流できるような魅力ある BLC となるように試行錯誤したいと思います。

近畿支部長

京都府立医科大学
夜久 均 先生



日本心臓血管外科学会近畿支部長として、この地区の U-40 の責任者を拝命しています。平素は U-40 の活動にご支援いただきありがとうございます。近畿支部では U-40 支部代表の桑内先生（関西医大）、副代表の本宮（ほんぐう）先生（京都府立）を中心に他の U-40 の幹事と共に活動を行っています。活動の中心は年1回の Basic Lecture Course の企画・運営であります。午前中に近畿支部の第一線で活躍されている心臓血管外科医のレクチャー、午後からハンズオンというプログラムで、2018 年・2019 年と京都府立医大の臨床講義室で行われました。ハンズオンではカニューレシヨンのトレーニングシミュレーターなども利用し若手の外科医にとっても非常に有意義な機会であったかと思います。支部会における活動には、本学会事務局からそれぞれの支部に年間 30 万円の予算がついていますが、なかなか運営の台所事情は厳しいのが現状です。従ってハンズオンではどうしても企業のご支援に頼らざるを得ず、本会の理事会では Off-the-Job Training 普及推進委員会を中心に今後の若手心臓血管外科医のトレーニングの在り方についての検討が始まっています。また、働き方改革が昨今話題になっており、心臓血管外科もその渦中に置かれることは避けられなくなるでしょう。これからの若手心臓外科医のトレーニングの在り方についても効率的に如何に行うか等を考える大事な時期となると思います。いずれにしても U-40 の活動に対しまして、今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

近畿支部代表幹事

関西医科大学 心臓血管外科
桑内 慎太郎



近畿支部代表幹事の桑内慎太郎です。これまでの活動の”発展的継続”と”継代”の2つを軸に活動を進めてきました。今年度の近畿 Basic Lecture Course は若手メンバーを中心に準備を行いました。事務的な面が例年とは大きく変わったこともあり、直前まで大小様々な問題や混乱が発生しましたが、無事に終えることができました。内容もこれまでの経験を元に徐々に洗練されてきた感があり、参加者からも非常に好評でした。支部内でも”発展的継続”と”継代”を何とか果たせたのではと思っています。

個人としては今年度で退任となります。至らぬことばかりで理事の先生がたや学会事務局の皆様には多々迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。また支部メンバーの皆様、ありがとうございました。

来年度からは新メンバーで更に発展していく近畿支部を楽しみにしています。皆様、引き続き近畿支部へのご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

中部支部副代表幹事

京都府立医科大学 小児医療センター 小児心臓血管外科
本宮 久之



U-40 近畿支部の副代表幹事を務めております本宮 久之（ほんぐう ひさゆき）と申します。つい先日副代表になったばかりであります、次回より桑内先生のあとを継いで近畿支部の代表幹事になることになりました。まだまだ幹事になったばかりで U-40 のために何をなすべきか、迷いながら試行錯誤している日々であります。近畿地区は非常に病院の数が多い地区であり、それだけ 40 歳以下の心臓血管外科医の数も多いと考えています。

近年、医師の働き方、いわゆるライフワークバランスに焦点が当てられることが多くなってきました。会員の多い近畿地区であるからこそ、我々から発信できるメッセージもきっとあるのではないかと考えています。また、私は先天性を専門にしており、全国で先天性を志す U-40 のみなさまともぜひ横のつながりを作り、より良い off the job training の機会の提供などについても粉骨砕身したいと考えております。ほんの少しの閃きで心臓血管外科医の未来は大きく変わると思います、忌憚ないご意見やアイデアなど、遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。

近畿支部幹事

あ

大阪大学 心臓血管外科
渡辺 健一



初期のメンバーから参加させていただいておりましたが、退任の年になってしまいました。
血管外科がメインで診療をしており、心臓外科のみならず血管外科の分野の発展にも微力ながらお手伝いが出来ればと思って活動してきましたが、今後は後輩の活躍に期待したいと思います。
引き続き近畿支部へのご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

兵庫県立尼崎総合医療センター
植野 剛



U-40 近畿支部幹事の植野と申します。現在は兵庫県立尼崎総合医療センターに勤務しております。U-40の立ち上げ時から、自身の異動に伴い、中四国→近畿と支部も移りつつ、幹事を継続して務めております。今後とも宜しくお願い致します。

大阪大学 心臓血管外科
梶田 浩禎



U-40 近畿支部の幹事を務めております大阪大学心臓血管外科の梶田浩禎（ますだひろただ）と申します。近畿支部の幹事になり、もうすぐ2年が経ちます。
私は少し変わったキャリアを持っておりまして、海外製品のような革新的な医療機器を開発するために、医療機器開発の本場のスタンフォード大学へ留学しておりました。普段、医療現場で忙しく働く日本の若手医師から面白いニーズとアイデアを募り、U-40 から世の中を変えてしまうような医療機器を生み出すことができればと思っています。ご興味のある方はご連絡をお待ちしています。

近畿支部幹事続き

国立循環器病研究センター
中村 悠治



U-40 近畿支部の中村 悠治（なかむら ゆうじ）と申します。

心臓外科の修練を始めてから今年で5年目になりますが、まだ他人に教えていけるほどの十分な知識や技術はなく、他の幹事の方に教えて頂きながら日々研鑽を積んでいます。

私は先天性を専門にしており、実臨床で経験できる症例が限られている小児領域だからこそ off the job training の必要性が高く、U-40 先天性グループを通じて 3D モデルなどのより質の高いトレーニングの場を共有し、全国の同志とともに若手小児心臓外科医のレベルの底上げに貢献できればと考えています。また小児領域でも VAD が重症心不全に対する標準的治療へとなりつつありますが、各施設での経験症例はまだ少なく、全国的によりレベルの高い心不全治療を提供できるよう自身の勤めるセンター施設から情報発信ができるよう務めさせていただきます

大阪市立総合医療センター
西矢 健太



2018 年より近畿支部幹事をさせていただいている大阪市立総合医療センターの西矢健太と申します。

U-40 の BLC は異なる医局や他施設の若手心臓血管外科医が交流できる貴重な機会であり、いろいろな先生と情報交換し、他施設の手技に触れることで、自分自身も多くの刺激を受けることができます。そのような機会を通して心臓血管外科の発展のお役に立てればと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

中国四国支部

中四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。当支部のBLCは毎回定員オーバーとなる参加申込をいただき、活気に満ち溢れています。開催場所が偏ることによる負担を考慮し各県持ち回りにしたところあら不思議、各県の特色や名産を共に懇親会も大盛況です。さて、次の開催は……？乞うご期待！参加申込はお早めに！！

中国四国支部

公立学校共済組合 四国中央病院院長
北川 哲也 先生



U-40の皆様へ

皆さんこんにちは。中国四国支部代表の北川です。

本年は第5回U-40BLCを11月23日に米子市で開催しました。満員御礼でたいへん熱気あるBLCとなりましたが、ご準備いただいた衛藤代表幹事、児玉幹事、岸本幹事等の頑張りとお湿 lab インスストラクターとしてご多忙の中かけつけていただいた指導医の皆様、そして人工弁、糸針等を提供いただいた企業様皆様に篤く御礼申し上げます。U-40の皆様には、知識、技術の修得はもちろんですが、同じ世代の仲間、友人を作っていただくとともに、是非『競い合う心』を磨いていただきたい。U-40を卒業する頃には一人一人が多様に自立した心臓血管外科医として活躍されることを祈念しています。前もってU-40の多様な将来と可能性に乾杯！また、一緒に仕事しましょう。

さて、来年福島での心臓血管外科学会後に、この中国四国支部も新しい体制への変革を考えています。衛藤先生にはこの数年来U-40をリードしていただき、私を支えていただきましたことに感謝もうしあげます。一人一人が誇り高く、継続的にU-40の仲間として育っていくことを祈念します。

中国四国支部代表幹

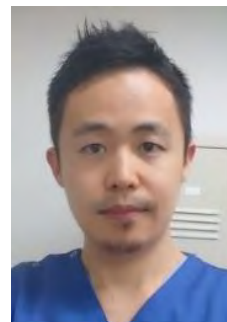
福山市民病院
衛藤 弘



U-40中国四国支部代表幹事を務めております衛藤です。U-40活動の末席に加えて頂いて、はや6年が経ちました。いつのまにか全国有数の規模でBLCを開催できるまでに成長した当支部、やはり最大の特長は強い横の繋がりだと感じています。孤高の天才外科医も結構ですが、チームとして数多くの手術に携わっていくこれからの心臓血管外科医像を潜在的に意識しているからだと思います。輝くすべての若手心臓血管外科医の支えになっていけたら良いですね。

中国四国支部幹事

JA 吉野川医療センター
荒瀬 裕己



徳島県幹事の荒瀬裕己です。U-40 の仲間に加えていただき 4 年が経ち、最後の年となりました。BLC などを通じて中国・四国の循環器の活性化に貢献できればと考えていましたが、むしろ活動を通じて自分自身が多くのものを得ることができたと感じています。U-40 に参加できたことに感謝しています。

岡山医療センター
井上 善紀



2014 年奈良県立医大卒の井上です。晴れの国、岡山には心臓・大血管・末梢血管・先天性どの領域においてもスペシャリストの先生方がおられ学ぶ環境は充実しています。

ポイで Needle work をするなど、U-40 活動に参加してこそ知るノウハウが魅力的です。

U-40 の中である種の仲間意識を持ち、いい刺激をしあって切磋琢磨するきっかけを作りたいです。

鳥取大学
岸本 祐一郎



鳥取県幹事の岸本祐一郎です。鳥取県は大学のある米子市を中心に盛んに臨床や研究活動を行っています。また、鳥取は若手心臓外科医が着実に増加している地域であります。山陰地域の医療を支えるため、また都市部に引けをとらないような臨床成績/研究成績をあげるため、次世代の育成が必要不可欠です。U-40 中国四国支部幹事として微力ながら日々努力し、育成の一助となれば幸いです。2019 年は米子市で第 5 回 Basic Lecture コースを開催し盛況に会を終了でき非常に嬉しく感じています。

中国四国支部幹事

近森病院
衣笠 由祐



高知県幹事の衣笠由祐です。私は医局に所属せずに市中病院で勤務しておりますが、U-40 の最大の魅力は、医局の垣根を越えて各地の同世代の若手医師と交流できる点だと思っています。お互いに良い部分は吸収しつつ、引いては中四国の心臓血管外科の発展に繋がるよう尽力して参りたいと思います。

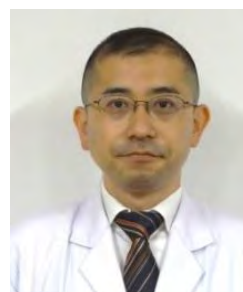
四国こどもとおとなの医療センター
中川 さや子



こんにちは、四国こどもとおとなの医療センター小児心臓血管外科の中川さや子と申します。香川県幹事として U-40 の活動に携わらせていただき 2 年目になります。荒瀬先生から広報を引き継ぎ、本年度は BLC の宣伝をはじめ集客活動を行い、満足のいく結果を残すことができましたと思います。これも中国四国の幹事仲間をはじめ積極的な若手陣、講師陣に恵まれているからこそですし、BLC をきっかけにたくさんの繋がりができたのは、とても幸せなことだと感じています。

そんな楽しい U-40 の活動ですが、私は幹事になった年齢がやや遅かったためあと 2 年しかいられないのが悔やまれます。卒業まで精いっぱい活動していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします！

山口大学
藏澄 宏之



山口県幹事の藏澄宏之です。幹事を務めて 4 年が経ち、40 歳を越えたため本年が U-40 最後の年となりました。毎年の ALC を通じて、地域や施設を越えた U-40 会員間の結束が年々高まっていることを実感しています。また、私自身が U-40 の企画から得られた経験や刺激は、今後の外科医人生に大いに役立つものと確信しています。

U-40 のさらなる発展を期待して、幹事としての最後の挨拶とさせていただきます。

中国四国支部幹事続き

愛媛大学
浪口 謙治



愛媛大学心臓血管外科の浪口謙治と申します。2012 年卒業で専門は成人心臓、末梢血管です。最近は大幅に増加されたスタッフにも恵まれ毎日忙しく、楽しく臨床を行っております。大学院生であり、大動脈弁狭窄症発症の分子メカニズムを中心に研究を行っております。愛媛県の気候は温暖であり雪も降りません。道後温泉など含めて温泉宿もたくさんあるためぜひ一度遊びに来てください。後輩たちの育成および、学生の勧誘など心臓外科の充実した楽しさ？を伝えていければと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

広島大学
児玉 裕司



U-40 中国四国支部の幹事をさせていただきはや2年が経過しました。今年で厳しくも圧倒的なカリスマ性で我々幹事を導いてくださった代表幹事が引退となります。ですが残った我々でその意思を引き継ぎ、ONE TEAM で引き続き他支部にない中国四国支部らしいBLC等を企画していきます！

徳山中央病院
藤田 陽



山口県幹事の藤田陽と申します。今年から幹事としてU-40に参加しております。

山口県は昔、総理大臣出身者が多いということが有名でした。今は日本酒が有名です。BLCなどで立ち寄られる際は、ぜひ楽しんでいただければと思います。

U-40では毎年開催されるBLCで県外施設、他大学で勤務する同世代の仲間と交流することができ、刺激を受けることができると実感しております。今後も中四国で心臓血管外科を目指す同志が増えて、U-40 中国四国支部が一層盛り上がっていただけるように協力できればと思っております。よろしくお願いいたします。

中国四国支部幹事続き

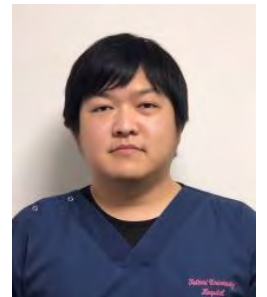
島根大学
和田 浩巳



島根県幹事の和田浩巳です。島根県は心臓外科が4施設で、都市部と比べ症例は少ないですが、日本でも有数の高齢化県としてこれからの日本の縮図を見ているように思います。

高齢者医療の中心として日本の医療を支えるべく奮闘してまいりたいと思います。

鳥取大学
堀江 弘夢



鳥取県新幹事の堀江弘夢と申します。

鳥取県は人口こそ少ないものの、内科と連携して幅広く臨床活動を行っております。それに伴い若手の心臓血管外科医も増えており、目の前の診療だけに尽力するのではなく、若手の育成にも力を注ぐという意味で新しい局面を迎えようとしています。その1つのサポートとしてU-40の活動があると知り、微力ながら力になればと思い、幹部を志願いたしました。

また、本年度中四国BLCを本県にて開催致しました。多数の参加者とともに山陰の魅力を知っていただくこともでき、非常に嬉しく思っています。まだ未熟ではございますが心臓血管外科若手の発展の為尽力しますのでよろしくお願い致します。

九州沖縄支部

当支部は、忙しい中でも学会や研究会で合流して情報交換をしたり、活発に連絡を取り合っ
て活動しています。毎年夏に BLC をしていますが、魅力的なテーマで構成するよう毎年取
り組んでいて、本年度はステントグラフトの講義やドライラボ、解剖講義など大好評でした。
教授陣、講師の先生方も非常に協力的で、毎年熱い指導が大変人気で満足度が高いです。各
県にまたがる 10 人のメンバーで九州の若手を盛り上げていきたいと思っています。

九州支部長

U-40 九州 担当理事
国立病院機構九州医療センター 院長
森田 茂樹 先生



上を向いて歩こう

進路を考えている医学生や研修医の諸君に先ず「面白い」かどうかで進む先を決めよう、と常々私は言っ
てきました。部活でなぜきつい思いをして練習に励むのか？シュートが決まった瞬間の高揚感、技術が向
上していく達成感、苦しい練習の後でしか経験することのできない勝利の感動。部活に求めているものは
人それぞれでも基本的には「面白い」「楽しい」ということがあるからつらい練習に耐えられた、とわが
身を振り返って思います。U-40 の皆さんは心臓血管外科というキャリアが面白いと思ってこの道を選ん
だと思うのです。私が大学の教授をしていたときには医局員の諸君に「きつくても下を向くな。廊下を歩
くきは誰が見ているかわからないので、上を向いて歩こう。」と言いつづけていました。それを可能にする
のは若い人に手を差し伸べる先輩と横に繋がる仲間です。大学や施設の垣根を越えて繋がっている U-40
の皆さん、とくに U-40 九州の結束力は心臓血管外科学会の宝だと思っています。日々の臨床は確かに大
変とは思いますが時代は変わりつつあります。時代を進める主役は身を粉にしてはたらいっている心臓血管
外科医だと自負しています。皆さんと一緒にこれからも「上を向いて歩こう」と唱えながら時代を変えて
いこうと思っています。

九州沖縄支部代表幹事

聖マリア病院
和田 久美子



渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生に次いで、本年度より後任を務めさせていただきます和田久美子です。大学時代の部活はバレー部で、学祭実行委員会をしたり、国試対策委員会をしたりと色々してきましたが、みんなで協力して何かを成し遂げることは素晴らしいことだと思っています。

外科自体を選択する先生も少なく、ましてや心臓血管外科医はもっと少ないのが現状です。働き方改革が進行中ではありますが、それを成すためには新たな心臓血管外科医の勧誘と女性の活躍無くしては難しいと思っています。男性も育休を取る時代ですし、病気で長期休暇を取ることもあります。女性も、結婚、妊娠出産などあり、仕事にブランクができる状況は男女ともにあると思います。そういった人でも働きやすい、復職しやすい環境を整えていくことは重要と思っています。U40の活動を通して、若手心臓血管外科医を活性化していきたいとおもいます。

九州沖縄支部副代表幹事

九州大学病院 心臓血管外科
原田 雄章



今年度の九州沖縄支部 BLC は大盛況に終わりました。まず第一に当支部 BLC の特徴は講師陣が非常に熱い熱意を持って参加して頂いてる点です。座学に関しては先生方で議論を熱く交わし、さらに今まであまり話した事がなかった先生方と交流が出来て非常に有意義な時間を過ごしましたが一番盛り上がりを見せるのがやはり wet labo です。先生方が求めるものも高いので講師陣との良い相乗効果で非常にハイレベルな wet labo になってるグループが多かったのが印象的でした。先生方だけでなく講師の先生も満足している様子でまた来年も参加したいと言われる事が多く満足度も高い BLC となりました。また懇親会でも多くの先生方に参加していただき他施設の先生同士で話したり悩みを共有したりなどして横の繋がりが BLC の回数が増える度に強固になっているのを感じました。今後も九州沖縄地区を盛り上げ、切磋琢磨し合える仲間を増やしていければと思います。

九州沖縄支部幹事

済生会熊本病院 心臓血管外科
古賀 智典



九州・沖縄支部の幹事を務めさせていただいております、済生会熊本病院心臓血管外科の古賀智典と申します。皆さんと共に学び、共に何かを発信し、会を盛り上げていけたら良いなと考えております。微力ではございますが、どうぞ宜しくお願いします。

九州沖縄支部幹事続き

大分市医師会立病院アルメイダ病院 阿部 貴文



大分市医師会立病院アルメイダ病院の阿部貴文と申します。U40 の幹事をして良かったことは、所属の医局を超えて同世代の先生方と知り合うことができ、また切磋琢磨しながら悩みも共有できることだと思います。U40 を通じて、より交流を広げていきたいと考えています。よろしくお願い致します。

鹿児島大学病院 心臓血管外科 永富 脩二



こんにちは。U-40 九州沖縄支部の幹事の永富脩二です。まだまだ若輩者ですが、BLC など多くの先生方と切磋琢磨できる機会を作れるように頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

嬉野医療センター 心臓血管外科 山元 博文



九州・沖縄支部の幹事を務めさせていただいております、嬉野医療センター心臓血管外科の山元博文と申します。今年度より幹事を務めさせていただくこととなりました。U40 の活動をとおして自分自身も様々なことを学びつつ、少しでも貢献できるように努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

福岡大学 心臓血管外科 寺谷 裕充



九州沖縄支部幹事、福岡大学心臓血管外科の寺谷裕充です。本年度の BLC も多くの先生方に参加して頂き、盛り上がりのある会になりました。座学、プラスアルファの講義についても、昨年度までとはまた違ったアプローチになったように思います。引き続き BLC 以外の面も含め、九州支部幹事で協力していければと考えております。

九州沖縄支部幹事続き

県立宮崎病院
川越 勝也



U-40 九州沖縄支部の幹事を務めさせていただいております川越勝也と申します。自分自身もまだまだ指導を仰ぐ立場ではありますが、たくさんの人とふれあう中で精進していければと考えております。円滑に U-40 の活動が進むよう微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

琉球大学
比嘉 章太郎



皆様こんにちは。昨年に引き続き U-40 九州沖縄支部幹事を務めさせていただいております比嘉章太郎と申します。今年の九州支部は代表幹事が変わりますが、少しでもサポートをし、よりよい U-40 の活動ができればなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

産業医科大学 心臓血管外科
幾島 栄悟



今年度より九州沖縄支部幹事として参加させていただくこととなりました。BLC には 2015 年より毎年参加させて頂いておりますが、同世代の心臓血管外科に携わる医師との施設を超えた交流のみならず、各施設を代表する心臓外科医の先生方から指導いただける機会を非常に有意義に感じております。この貴重な会を今後も盛り上げるべく助力させていただきたいと思っております。

U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

”日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム”，

”Advanced Lecture Course (ALC)”，

”基本技術定量化プロジェクト”，

”先天性プロジェクト”

の 4 つのプロジェクトが進行しています。

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します。

日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

秋田大学 心臓血管外科
高木 大地



【2019 年度 活動報告】

今年より U-40 コラム担当を、岡村賢一先生より引き継がせて頂きました高木です。U-40 コラムは、「U-40 Surgical Skill Sharing ―今更聞けない心臓血管外科基本手技」を主テーマに、若手心臓血管外科医が行う手技の共有と一般化を目標としてきました。2020 年の日本心臓血管外科学会には本コラムの書籍化されたものが出版される予定です。

現在、「働き方改革」や「新専門医制度」など U-40 を取り囲む環境は目まぐるしく変化しています。様々な情報が発信されていますが、U-40 でも情報の共有・意見の発信をしていくことで、より良い環境作りに貢献をしていこうと考えております。そこで、今回、「U-40 Surgical Skill Sharing ―今更聞けない心臓血管外科基本手技」の書籍化をもって、コラムテーマを「働き方改革」「新専門医制度」へ変更することとなりました。「働き方改革」については、2020 年第 1 号から第 5 号までを予定しており、第一弾は「心臓血管外科と他科と違いから考える働き方」で、大変興味深い内容となっております。

今後も本企画が、U-40 の理念である 3 つの笑顔に貢献できるよう努めていきたいと思っております。

Advanced Lecture Course (ALC)

聖路加国際病院 心臓血管外科
吉野 邦彦



【2019 年度 活動報告】

第2回 Advanced Lecture Course(ALC)が2019年2月10日、第49回心臓血管外科学会総会においてホテルグランヴィア岡山にて開催されました。北海道支部から九州沖縄支部まで、8支部より選出された計8名の若手心臓血管外科医が参加されました。”Advanced”Lectureとして、京都府立医大の夜久教授より回旋枝領域の off pump CABG についてご講義頂きました。その後5名の Expert Surgeon による Hands-on Lecture、冠動脈吻合コンテストを行いました。冠動脈吻合コンテストでは、豚心臓 LAD の吻合を行いました。1名ずつ吻合を行い、評価表を用いて5名の審査員の合計点により順位を決定しました。厳正なる採点の結果、関東支部選出の高橋 賢一郎先生が優勝されました。優勝者は心臓血管外科総会全員懇親会で表彰され、副賞が授与されました。ALCは今回2回目と、まだ黎明期にありますが、心臓血管外科学会のサポートの下、実りある会になったと考えております。

第3回となる今年は、第50回心臓血管外科学会総会に合わせて CABG に関する ALC を、第34回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会において不整脈外科に関する ALC を開催する予定となっております。今後、より多くの U-40 会員にご参加頂けるよう、CABG 以外の領域についての ALC も拡充していく予定です。



講師

弘前大学 福田 幾夫 先生
京都府立医科大学 夜久 均 先生
兵庫医科大学 坂口太一 先生
関西医科大学 湊 直樹 先生
倉敷中央病院 小宮 達彦 先生

第2回 ALC 各支部選出者

北海道支部：札幌医科大学 沼口 亮介 先生
東北支部：日本海総合病院 中村 健 先生
関東支部：日本医科大学 高橋 賢一郎 先生
東京支部：日本医科大学 吉尾 敬秀 先生
中部支部：福井大学 矢野 啓太 先生
近畿支部：亀田総合病院 木下 友希 先生
中四国支部：愛媛大学 浪口 謙治 先生
九州沖縄支部：県立宮崎病院 立岡 修治 先生

コンテスト結果

第1位 関東支部代表 日本医科大学 高橋 賢一郎 先生
第2位 東京支部代表 日本医科大学 吉尾 敬秀 先生
第3位 中四国支部代表 愛媛大学 浪口 謙治 先生

2018 年度 U-40 企画

Advanced Lecture Course 冠動脈吻合コンテスト

受賞者の声

2018 年度 U-40 企画 Advanced Lecture Course の冠動脈吻合コンテストで賞を頂きました、日本医科大学心臓血管外科の高橋賢一郎と申します。2018 年度心臓血管外科学術集会の懇親会場で理事長の横山先生より表彰状と金一封を授与され、また会場内のバドガールとの写真を SNS の U-40webpage で UP して頂き、多くの方々から反響を頂戴しました。本企画に携わった方々にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。また、前年度優勝者の芝田先生（私の 1 年後輩です）に引き続き、日本医科大学で 2 年続けて受賞できたことを私自身大変嬉しく思います。こうした企画に参加する中で、他参加者の先生方と交流が生まれて同年代の仲間が増えること、そして評価者の高名な先生方に自分の手技を見てもらって feedback をもらえたことも大きな成果でした。今後は自らの経験を生かして ALC の企画運営に携わり、「冠動脈吻合を科学」して、U-40 にしかできない活発な企画を目指して発展させて行きたいと思っています。



コンテスト風景



表彰式

福島県立医科大学 横山 斉 先生より入賞者へ表彰状と金一封が授与されました。

2018 年度 U-40 企画

ウィンターセミナー 心房細動手術 ALC 報告

受賞者の声

第 34 回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会において、U-40 Advanced lecture Course を 2 月 13 日に雪石プリンスホテル会場で開催しました。

本年のウィンターセミナーの会長である弘前大学福田幾夫教授のご厚意により本企画が発足し、テーマを「心房細動手術」として企画を進めてまいりました。

講師を日本医科大学 新田隆教授に依頼し、以下の三部制のプログラムで開催しました。

- ① 講義：新田教授による「AF がきちんと治るメイズ手術のコツ」に関して講義していただき、おもに確実な肺静脈隔離と冠静脈洞の焼灼について御講演いただきました。
- ② ディスカッション：フロアの参加者と新田教授の Q&A 方式ディスカッション。事前に参加者達から心房細動手術に関するエキスパートへの質問を集め、8 題の質問を選定。新田教授が回答・解説をする形で進行了ました。
- ③ ハンズオン：ブタの肺付き心臓と AtriCureRF・cryoICE・AtriClip を用いたハンズオンセミナーを開催し、岩手医科大学 金一教授、獨協医科大学 福田宏嗣教授、聖路加国際病院 阿部恒平先生、弘前大学 皆川正仁先生にもインストラクターを務めていただきました。

本企画の参加申込は当初 20 名を想定していましたが、結果的に 29 名からの申込があり、若手医師の Off-JT に対する意識の高さを感じ、また心房細動手術への興味を実感しました。

実際、参加申込者に加えて講義にはさらに多くの方々が聴講に見え、熱気に包まれた会場となりました。

今回ウィンターセミナー学術集会での ALC は初めての試みでしたが、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに執り行うことができました。本企画にご尽力いただいた弘前大学福田幾夫教授、齊藤良明先生をはじめとした弘前大学事務局の皆様、共催のセンチュリーメディカルの担当者様、そしてインストラクターの先生方にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

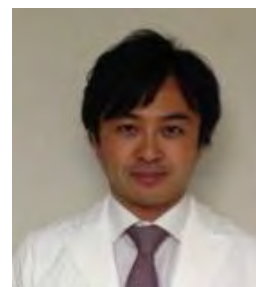


基本技能定量化プロジェクト

国立病院機構東京医療センター 心臓血管外科

慶應義塾大学大学院外科学（心臓血管）

山田 敏之



【2019 年度 活動報告】

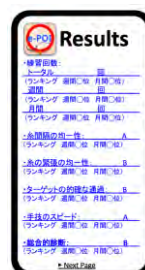
去年に引き続き、「基本技術定量化プロジェクト」を担当しております。基本技術定量化プロジェクトでは、金魚すくいの「ポイ」を用いたニードルワークが企画されました。大変ユニークなアイデアで、脆弱な組織で運針するという「過負荷」の状態でのトレーニング法として考案されました。現在勤務している名古屋市立大学においても、レジデント・学生教育に好評です。

去年の annual report にも目標を記載しましたが、今年はこの「ポイ」でのトレーニング法をアップデートすべく、画像認識・解析技術を用いて針糸で縫われた「ポイ」を自動採点する手術教育アプリ「e-POI」の開発を進めております。私は現在も共同研究先の慶應義塾大学にて心臓手術シミュレーターや手術技量評価システムの開発を行っており、最新の工業技術やデータ解析技術を利用した「手術技量の定量化」を研究テーマとしております。そのノウハウを「e-POI」の開発に応用しており、2020 年には皆様のお手元にお届けできるように関係者全員で頑張っております。

このアプリにより、「ポイ」を用いたトレーニングも一時点での技量の定点観測から一定期間のトレーニング効果を測る教育ツールになることが可能となります。また、手技を行う対象としての「ポイ」自体のアップデート（トレーニングの対象物自体の改良）に取り組むことや、新たな評価方法の開発にも応用可能です。今後もこの活動を通じて、我々若手心臓外科医が効果的・効率的に、しかも楽しく手術トレーニングを行うために何が必要かを、自分たち自身で考えていけるような活動を提案していきたいと思っております。



[実際のポイを使用したトレーニング風景]



[e-POI のイメージ図]

先天性プロジェクト

都立小児総合医療センター 心臓血管外科
平野 暁教



【U-40 先天性プロジェクトの Mission】

- ・各支部 BLC での小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけた Off the Job Training の計画と充実

U-40 先天性プロジェクトのプロジェクトリーダーをしています東京支部副代表幹事の都立小児総合医療センター 平野暁教です。先天性プロジェクトは 2018 年度から開設され、九州沖縄支部の原田雄章先生、近畿支部の本宮久之先生、関東支部の伊藤貴弘先生とともに担当しています。

U-40 先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のための Off the Job Training や、今後の小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。

【2019 年度 活動報告】

① 第 55 回 日本小児循環器学会総会 ミニシンポジウム 1 (2019 年 6 月 28 日)

「次世代育成プロジェクト 3」 2018 年実施のアンケート結果を発表

昨年度の annual report にも報告しましたアンケート結果を、U-40 の立場から日本小児循環器学会総会で発表しました。

アンケート結果を踏まえ、U-40 的小児心臓外科医育成プログラムを作成してみました。実際の手術経験が少なくても安心して手術に臨むためには、を主眼にどのような Off the Job Training が有用か、また chief surgeon として独り立ちするにはどんなサポートがあれば若手は嬉しいか、を発表させていただきました。

シンポジウム中では、「働き方改革」、「施設集約」、そして「小児心臓外科の育成」についてかなり白熱した議論がなされ、日本小児循環器学会内に「次世代育成委員会」の設置が決定されました。静岡県立こども病院 坂本喜三郎先生のご配慮により、若手小児心臓外科代表として委員に選出していただきましたが、これも U-40 先天性プロジェクトの延長と考えています。

成人・小児を問わず、今後「働き方改革」の風に乗って実際の勤務を変えたい！、と感じている先生は少なくないと思っています。せっかく U-40 内に先天性プロジェクトがありますので、この機会に是非皆さんのこのアツい想いを実現していきたいと思います！引き続きよろしくお願いいたします。

② 全 U-40 会員を対象とした小児心臓外科医メーリングリストの開設

昨年から小児心臓外科メーリングリストを開設しています。活発な情報提供、とまではまだまだ全く使いこなせていませんが、ハンズオン・留学・リクルートなどメーリングリストで行っていきたいと考えています。

全 U-40 会員を対象として、全国の若手小児心臓外科医を取り込むべく案内活動をしています。ご興味のある先生は、以下のメールアドレスまでご連絡いただけると幸いです。

右の QR コードからもメールを作成することができます。よろしくお願いいたします。

jscvsu40_chss_japan@umin.ac.jp



小児心臓外科領域は症例数も少なく手術執刀機会も少ないです。それぞれの施設でそれぞれ孤独に頑張っている小児心臓外科医たちが、技術や知識や経験を共有することはとても意味あることだと考えています。

全国の若手小児心臓血管外科医のみなさん、一緒に頑張っていきましょう！

特別座談会

日本心臓血管外科学会 U-40 の未来を考える



座談会報告 広報 野上 英次郎

時間：2019 年 11 月 1 日 場所：京都国際会議場

参加者：横山 斉理事長、弘前大学 福田 幾夫教授、千葉大学 松宮 護郎教授

U-40 幹事：田中 千陽代表、藤原 立樹先生、高木 大地先生、野上 英次郎

「日本心臓血管外科学会 U-40 の未来を考える」と題して座談会を行った。こういったお誘いが頂けるのも、ゼロから U-40 を立ち上げた諸先輩方のご尽力があり、現在の活動も認められつつあるということだろう。U-40 の未来を考えることで、心臓血管外科全体の未来につながるのではないかと考えて、我々にお声がかかったのかと想像している。U-40 の知名度は少しずつ上昇し、活動の幅も広がりつつある。しかし、U-40 の果たしている役割と、U-40 の目的と、U-40 に（指導者から、U-40 会員から）求められる活動は少しずつずれがあり、まだ模索中で発展段階である。幹事がこれまでの活動を通して感じてきたことや、キャリア形成、心臓外科全体の将来の不安等を理事の先生方にぶつけ、理事の先生方の考えも伺うことができた。我々も U-40 の存在意義を自問自答しながら、活動、役割、目的を模索しながらやっている中、少しだけ自信につながった。「座談会」と軽いノリで対談に挑み、いろいろと熱い議論が交わされる事を期待していたが、理事の先生方の前では U-40 幹事も緊張が隠せず、さらにカメラ取材の元でのなれない環境もあり、U-40 幹事は本音を出せなかった感は否めないが、幹事にとっては非常に有意義な時間であった。

本座談会の詳細は日本心臓血管外科学会ホームページで公開されています。

URL

<https://plaza.umin.ac.jp/~jscvs/talk/>



QR コード

サマースクール活動報告

藤沢市民病院 心臓血管外科

出淵 亮



本年度より U-40 関東支部幹事をさせていただいている出淵と申します。そのご縁もありまして、今年初めてサマースクールにファカルティとして参加させていただきましたので、その感動を含めご報告させていただきます。

本年の心臓血管外科サマースクール 2019 は、8 月 17-18 日の 2 日間にわたって神奈川県足柄上郡にありますテルモメディカルプラネックスで行われ、114 名もの受講生とファカルティ・スタッフ 48 名にご参加いただき、加えてご協力ご協賛いただきました多くの企業スタッフの皆様のおかげをもちまして、大変盛会となりました。

参加者は皆、心臓血管外科に強い興味を抱き、全国から参加しているだけあって、そのモチベーションの高さに驚きました。専門医である自分でもなかなか気が付かないような高度な質問が多く聞かれ、外科医としての高い素質を備えている若者ばかりでした。また、参加者の成長のスピードにも驚きを見せました。開会時と閉会時に、縫合技術評価のために同じお題をやって採点するのですが、点が伸びるだけでなく、手つきも一流の外科医たちを彷彿とさせるような手つきになっていました。是非とも、将来こうした優秀な後輩たちが一人でも多く心臓血管外科医の仲間になってくれて共に働きたいものですし、楽しみです。また、2 日間にわたるイベントということあり、懇親会や宿泊を通じて、素晴らしい人のつながりができました。

自分たちと同じ志をもった若者とのふれあいを通して、心臓血管外科医の仕事のすばらしさを再認識した、そんな 2 日間でした。



2019 年度 U-40 会計報告

2019年度U-40 関係経費の内訳について

BLC以外の経費	会議費	HP	会場費	賞金代	郵送費	機材	賞状紙代	印刷費	交通費	雑費	合計
会議費	7,207										7,207
HPメンテナンス		309,099									309,099
ALC			610,902	100,000		608	213,192	864	21,216		946,782
年報印刷代								149,817			149,817
郵送費(新幹線・著作権)						4,844				450	4,844
現金口座開設										60,000	60,000
monkey survey											
										合計	1,478,199

BLC業務委託費	5,400,000
----------	-----------

BLC関係経費	会議費	機材費	交通費	謝礼金	印刷代	郵送費	合計
U-40北海道		86,616	120,943	32,832		4,854	245,245
U-40東北		86,840	201,284		53,524	19,438	361,086
U-40関東		86,620	43,367	11,137	83,545	39,964	264,634
U-40東京		126,171	85,732			31,614	243,517
U-40中部		142,992	192,247		41,256	25,714	402,209
U-40近畿		86,400	96,052		756	29,422	212,630
U-40中国四国	25,324	88,000	376,438		990	13,120	503,872
U-40九州沖縄	32,832	86,616	391,994		2,138	15,970	529,550
合計	58,156	790,255	1,508,057	43,969	182,210	180,096	2,762,743
参加費収入							2,255,000

総額	BLC以外	委託費	BLC	2019年度
	1,478,199	5,400,000	2,762,743	28,296
				9,669,238

(2018年度会場費282,96円 2019年2月22日に請求書)
2019年度決算額557,846円

— 編集後記 —

U-40 広報兼関東支部幹事の伊藤貴弘です。前任の野上先生、野田先生より引き継ぎ、幾島先生と一緒に広報担当になりました。今回、野上先生、幾島先生と一緒に 2020 年度の年次報告書の作成に参加させていただきました。各支部長の先生方、幹事の皆様には原稿集めにご協力いただき感謝申し上げます。2019 年度から開始し今回 2 回目ですが、皆様のご協力のもと初回に引き続き素敵な仕上がりになったと思います。メインで作成して頂いた広報の幾島先生、大変感謝しております。今後も前任に引き続き U-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な時間を共有できるよう尽力いたします。

千葉県こども病院
伊藤 貴弘

この度前任の野上先生より伊藤先生とともに U-40 広報を担当させていただくこととなりました、九州沖縄支部幹事の幾島 栄悟です。COVID-19 の感染拡大に伴い第 50 回日本心臓血管外科学会学術総会が延期となった中、執筆しております。

さて、毎年開催されております BLC は所属施設を超えた交流が図れる貴重な場ですが、3 月 31 日現在、先行き不透明な状況下では本年度の各支部での BLC の開催の延期も検討されるかと思います。また、その他の会合も恐らく中止や延期がなされ、交流を図る機会が減ると思われます。

このような状況でこそ U-40 の交流が活発になるよう、広報として活動できればと考えております。微力ではありますが、皆様のお力になれるよう会を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いします。

産業医科大学 心臓血管外科
幾島 栄悟